



新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。子どもたちが毎日園に通う生活をできる限り維持できるように、園では今後も感染対策に努めてまいります。地域の感染状況等を踏まえた感染対策の見直しにより、登降園時の受け渡し方法の変更や行事の中止等、ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

保健師 牧野 利香

### 新型コロナウイルス感染症について

1月19日、千葉県では1月21日から2月13日までの間、まん延防止等重点措置の適用が決定されました。引き続き基本的な感染対策を続けると共に、お子さんやご家族が感染した場合や濃厚接触者になった場合の対応について確認しておきましょう。

#### ①発熱等の症状があり受診する場合

○まずは、かかりつけの医療機関に電話で相談してから受診します。

○かかりつけの医療機関がない場合やかかりつけの医療機関で診療や検査ができない場合は、発熱相談コールセンター【0570-200-139(24時間対応可能)】に相談します。千葉県のホームページからも近くの発熱外来が確認できます。(熱があるときは 千葉県で検索)

#### ②陽性が判明した場合

- 医療機関が保健所に発生届を出し、それをもとに保健所から電話やSMS等で連絡があり、健康状態等の聞き取り調査が行われます。
- 検査結果を待っている間に「新型コロナウイルス感染(疑い)者事前登録システム(イマビス)」に情報を入力しておく、陽性になった場合に行われる調査がスムーズになります。
- 療養場所や療養期間など、保健所の指示を受けて療養を開始します。
- 原則、発症日から10日間経過し、かつ症状軽快後72時間経過した場合に療養が解除されます。

#### ③濃厚接触者になった場合

- 感染者と最後に接触があった日を0日として翌日から10日間は自宅待機になり、健康観察を行います。
- 検査を行い陰性であっても、10日間は発症する可能性があるため自宅待機と健康観察を行います。
- 自宅待機中は不要不急の外出はできる限り控え、やむを得ず外出する場合はマスクを着用し、人との接触は避けます。
- 症状が見られたら①と同じように受診します。受診する前に必ず医療機関に電話をして濃厚接触者であることを申し出てから受診します。

#### 濃厚接触者とは

感染者の感染可能期間(※1)において以下のいずれかに該当する者です。

- ・感染者と同居または長時間の接触があった者
- ・適切な感染防護なしに感染者を介護していた者
- ・感染者の飛沫(くしゃみ、咳、つば等)に直接触れた可能性の高い者(※2)
- ・手で触れることのできる距離(目安として1m)で、必要な感染予防対策なし(※3)で、感染者と15分以上の接触があった者

※1 発症2日前(無症状の場合は、陽性確定に係る検体採取日の2日前)から退院または療養解除の基準を満たす期間。

※2 1m以内の距離で互いにマスクなしで会話が交わされた場合は、時間の長さを問わずに濃厚接触者に該当する場合があります。

※3 必要な感染予防対策については、マスクを着用していたかのみならず、鼻出しマスクや顎マスク等、マスクの着用が不適切な状態ではなかったかについても確認します。

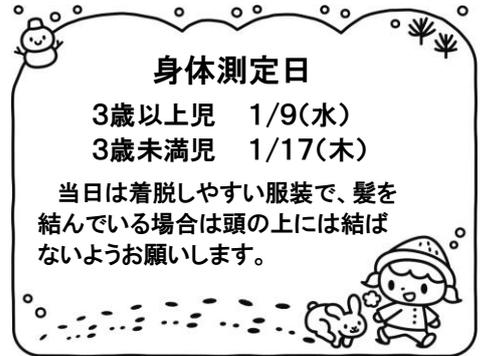
最近では濃厚接触者の待機期間が14日間から10日間に短縮されたように、情報は随時更新されています。最新情報は千葉県のホームページ等で確認していただくようお願いします。

### 身体測定日

3歳以上児 1/9(水)

3歳未満児 1/17(木)

当日は着脱しやすい服装で、髪を結んでいる場合は頭の上には結ばないようお願いします。

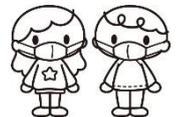


### 感染症発生・流行状況

1月は園内で新型コロナウイルス感染症が発生しました。12月に発生した胃腸炎は1月の発生はありませんでしたが、県内では増加傾向にあるため注意が必要です。

園内での集団感染を防ぐため、本人や家族に症状がある場合は登園を控え、早めに受診していただくようお願いいたします。

また、感染への不安な気持ちから、意図せず感染者の詮索や噂などをすることがないように気をつけましょう。



### 節分豆の誤えんに注意

奥歯が生えそろわず、かみ砕く力や飲み込む力が十分でない子どもが豆やナッツ類を食べると、のどや気管に詰まらせて窒息したり、肺炎を起こすリスクがあります。

節分の豆まきは、個包装されたものを使用するなど工夫を行い、子どもが拾って口に入れないように、後片付けを徹底しましょう。



### 子どもの窒息・誤えんを防ぐために

○豆やナッツ類など、硬くてかみ砕く必要のある食品は5歳以下の子どもには食べさせないでください。

○ミニトマトやブドウ等の球状の食品は4等分する、調理して軟らかくするなどして、良くかんで食べさせましょう。

○食べているときは、姿勢を良くし、食べることに集中させましょう。物を口に入れたままで、走ったり、笑ったり、泣いたり、声を出したりすると、誤って吸引し、窒息・誤えんするリスクがあります。

参考:消費者庁